

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 26 年 2 月 27 日  
東京電力株式会社

## < 1 . 原子炉および原子炉格納容器の状況 > ( 2/27 11:00 時点 )

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h	14.6	106.2 kPa abs	A系： 0.03 vol%
		給水系：約 2.5 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.02 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.5 m <sup>3</sup> /h	23.9	3.62 kPa g	A系： 0.02 vol%
		給水系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.01 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.5 m <sup>3</sup> /h	21.9	0.22 kPa g	A系： 0.08 vol%
		給水系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.07 vol%

\* : 絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

### 【2号機】

- ・2/17～ 今後の作業や工事において炉心スプレイ系を停止して給水系で全量注水する対応が必要になることから、事前に給水系の全量注水試験を実施し原子炉冷却状態への影響を確認しており、原子炉注水量総量(4.5m<sup>3</sup>/h)を維持しながら、段階的に炉心スプレイ系から給水系へ乗せ替える操作を実施。
- ・2/27 10:26～10:50 全量注水試験が終了したことから、炉心スプレイ系の注水流量を 0m<sup>3</sup>/h から 2.5m<sup>3</sup>/h へ、給水系の注水流量を 4.5m<sup>3</sup>/h から 2.0m<sup>3</sup>/h へ変更(原子炉注水総量は変更なし)。  
なお、調整後の原子炉注水流量は安定しており、原子炉压力容器底部温度等に有意な変動はない。

## < 2 . 使用済燃料プールの状況 > ( 2/27 11:00 時点 )

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	11.5
2号機	循環冷却システム	運転中	10.8
3号機	循環冷却システム	運転中	10.6
4号機	循環冷却システム	運転中	14.0

各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

- ・H25/11/18 15:18～ 4号機使用済燃料プールから燃料を取り出す作業を実施中。

### 【3号機】

- ・2/26～ 3号機使用済燃料プール代替冷却系の二次系冷却塔のろ過水による散布水停止の影響調査を実施中(プール冷却は継続中)。

### 【4号機】

- ・2/28 使用済燃料プール代替冷却系二次系の電源について、ケーブル損傷の修理が完了し、プロセス主建屋常用メタクラ(ケーブル損傷発生前の受電元)への切り替え作業を実施することから、使用済燃料プール代替冷却系二次系を約3時間停止予定。  
なお、使用済燃料プール水温は 14.0℃(2/17 11:00 時点)であり、冷却系停止時のプール水温度上昇率評価値は 0.29℃/h で停止中のプール水温上昇は約1℃と評価される。運転上の制限値 65℃に対して余裕があり、使用済燃料プール水温度の管理上問題ない。

### 【5号機】

- ・2/28～ 炉心燃料を使用済燃料プールへ移送する準備作業として、使用済燃料プール内に設置されている使用済燃料ラックの点検を実施予定。

### < 3 . タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
2号機	2号機タービン建屋	3号機タービン建屋	2/22 10:37 ~ 移送実施中
3号機	3号機タービン建屋	集中廃棄物処理施設（雑固体廃棄物減容処理建屋 [ 高温焼却炉建屋 ]）	1/24 14:37 ~ 移送実施中

### < 4 . 水処理設備および貯蔵設備の状況 > （2/27 11:00 時点）

設備	セシウム吸着装置	第二セシウム吸着装置（サリー）	除染装置	淡水化装置（逆浸透膜）	淡水化装置（蒸発濃縮）	多核種除去設備（ALPS）
運転状況	停止中	運転中*1	停止中	水バランスをみて断続運転	水バランスをみて断続運転	ホット試験中*2

\*1 フィルタの洗浄、バッセル交換を適宜実施。

\*2 高性能容器（HIC）交換等を適宜実施。

### < 5 . その他 >

- ・1/29～凍結管を設置するための削孔については、掘りあがった温度測定用の孔にカメラを挿入して、トレンチ内部状況を再度、慎重に確認したうえで削孔開始することとしていたが、トレンチ内部の状況が確認できたことから、凍結管を設置するための削孔を実施中。

#### 【H4エリアタンク等からの水の漏えい関連】

##### < トピックス >

- ・H25/12/10 10:10～汚染水拡散の防止策として、H4エリア周辺に設置したウェルポイントから地下水の汲み上げを再開。

##### < タンクエリアパトロール実績（2/26） >

- ・高線量当量率箇所（線による70 $\mu$ m線量当量率）は確認されず。
- ・堰床部に雨水が溜まった箇所については、雨水による遮へい効果により線量当量率は低い状態となっている。
- ・目視点検によりタンク全数に漏えい等がないこと（漏えい確認ができない堰内溜まり水内を除く）を確認。
- ・汚染水タンク水位計による常時監視で、タンク水位に異常がないことを確認。

##### < H4エリア周辺のサンプリング実績 >

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

##### < 福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績 >

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### 【タービン建屋東側の地下水調査 / 対策工事の実施状況】

##### < トピックス >

- ・1,2号機取水口間のウェルポイントおよび集水ピット(南)地下水から立坑Cおよび2号機タービン建屋への移送量は2/27 0:00 時点で約 8,418m<sup>3</sup> \*集水ピット(南)およびウェルポイントの総量

##### < 地下水観測孔サンプリング実績 >

- ・2/26 地下水観測孔 No.2-8 を初採取。濁度が高く、ガンマ核種については測定できていないことから、全ベータ放射能濃度についても参考値であるが、近傍の地下水観測孔 No.2-6 および No.2-9 と同等の値であることを確認。  
[地下水観測孔 No.2-8 の測定結果:2/26 採取分]  
・全ベータ :1,000 Bq/L

また、地下水観測孔 No.2-6 において、2/25 採取分におけるセシウム 134 およびセシウム 137 の測定結果については、前回値より 10 倍以上の値が確認されていたが、2/26 に採取し測定した結果、セシウム 134 が 0.55 Bq/L、セシウム 137 が 1.4 Bq/L と以前と同等の値に戻ったことを確認。2/25 採取分の測定結果については、試料の濁度は 5ppm 以下だったが、わずかな懸濁物等も一緒に採取したものと考えている。

##### < 移送関係 >

- ・2,3号機東側に設置したウェルポイント(バキュームによる強制的な排水設備)からの地下水汲み上げおよび2号機タ

ービン建屋への移送を適宜実施中。

- ・H25/12/11～ 1, 2号機間護岸エリア地下水観測孔 No.0-3-2 でトリチウムが検出されていることから、当該観測孔からの地下水の汲み上げを試験的に適宜実施中。
- ・H26/1/29～ 1, 2号機間護岸エリア地下水観測孔 No.1-16 で高い濃度の全ベータが検出されていることから、当該観測孔近傍に設置した地下水汲み上げ用の孔(No.1-16(P))からの地下水の汲み上げを適宜実施中。

#### **【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】**

<トピックス>

- ・H25/7/1～ 拡散防止対策およびサンプリングは継続実施中。
- ・H25/10/3～ 地下貯水槽 No.1 の汚染範囲調査開始。
- ・H26/1/30～ 地下貯水槽 No.1～3 における貯水槽内部の残水について、H1 東エリアタンクへの移送を適宜実施。

<地下貯水槽サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以 上